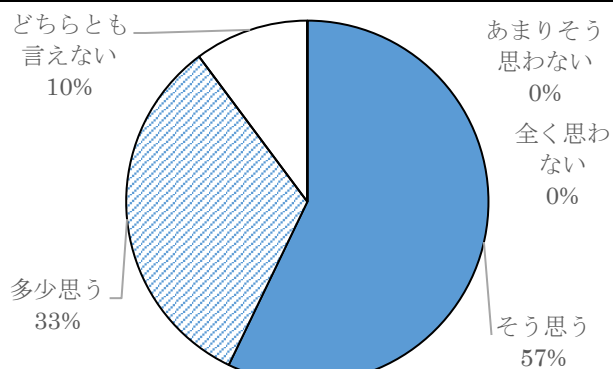


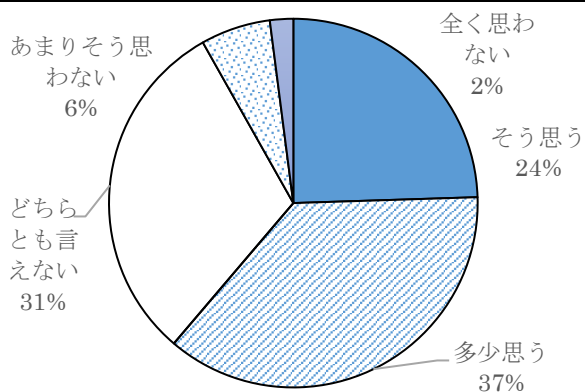
保護者 後期学校評価について

後期保護者学校評価に基づいて、見附特別支援学校の成果と課題をお知らせします。保護者の皆様からは、ご多用の中、アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

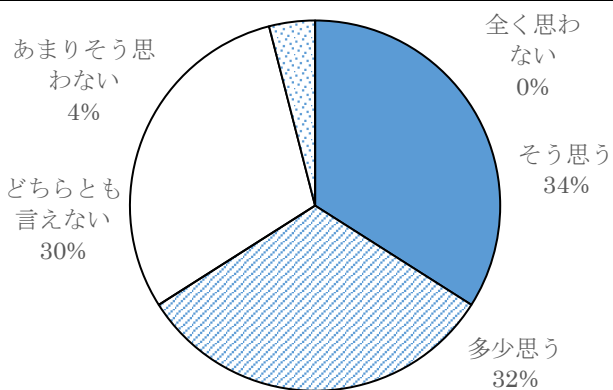
①お子様は、自分も友達も大切にしようとしていますか。



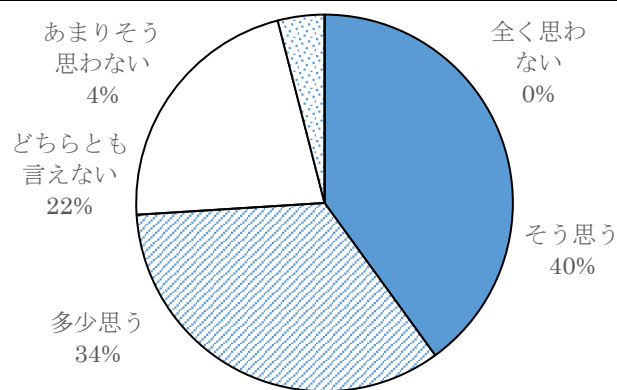
②お子様は、地域と関わりをもって生活していますか。



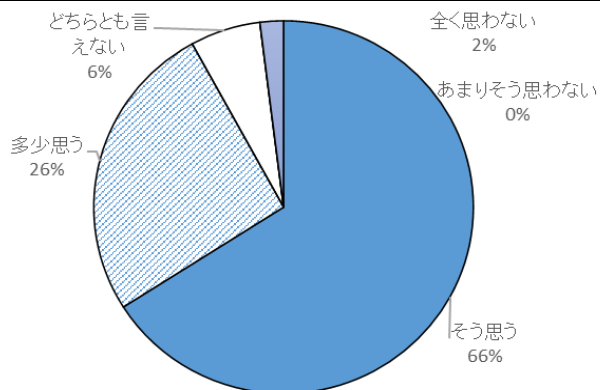
③お子様は、物事を最後までやり遂げようとしていますか。



④お子様は、いろいろなことに挑戦しようとしていますか。



⑤お子様の心と体は健やかに育っていますか。



「めざす子どもの姿」に関連した項目①～⑤では、それぞれのお子様の様子についてお聞きしました。

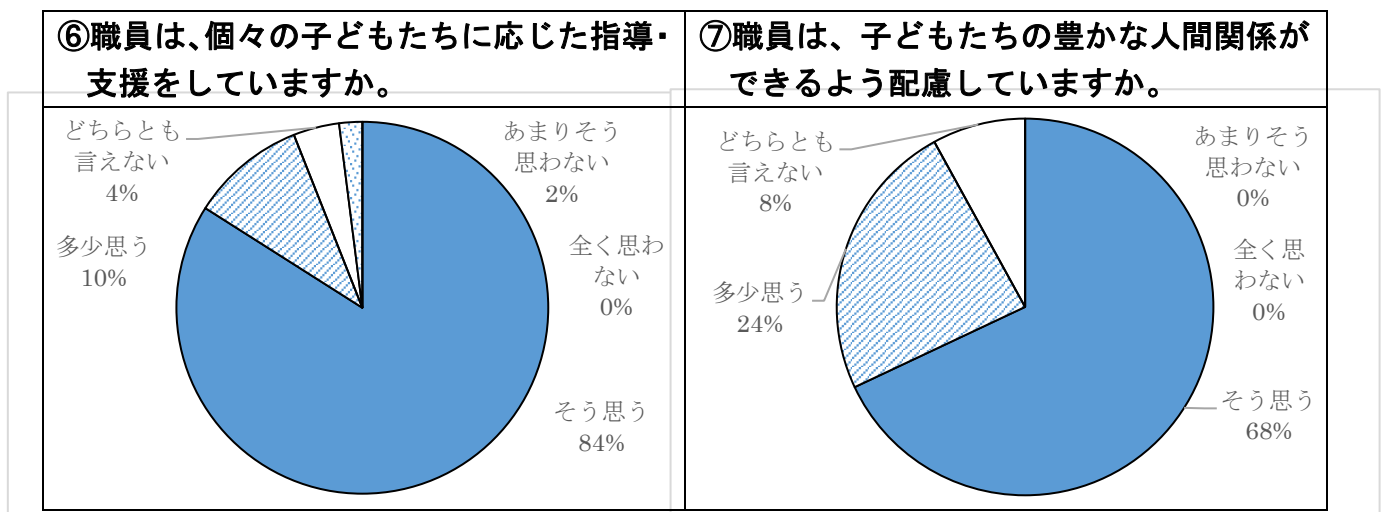
項目①「お子様は、自分も友達も大切にしようとしていますか。」については、肯定的評価（「そう思う」「多少思う」）が90%（1学期比+12%）と高い評価でした。「友達と関われるようになった。」（小学部）、「友達のことを楽しそうに話すことがある。」（高等部）といったご意見をいただきました。交友関係が広がり、楽しく学校生活を送っている子どもたちが多いことがうかがえます。

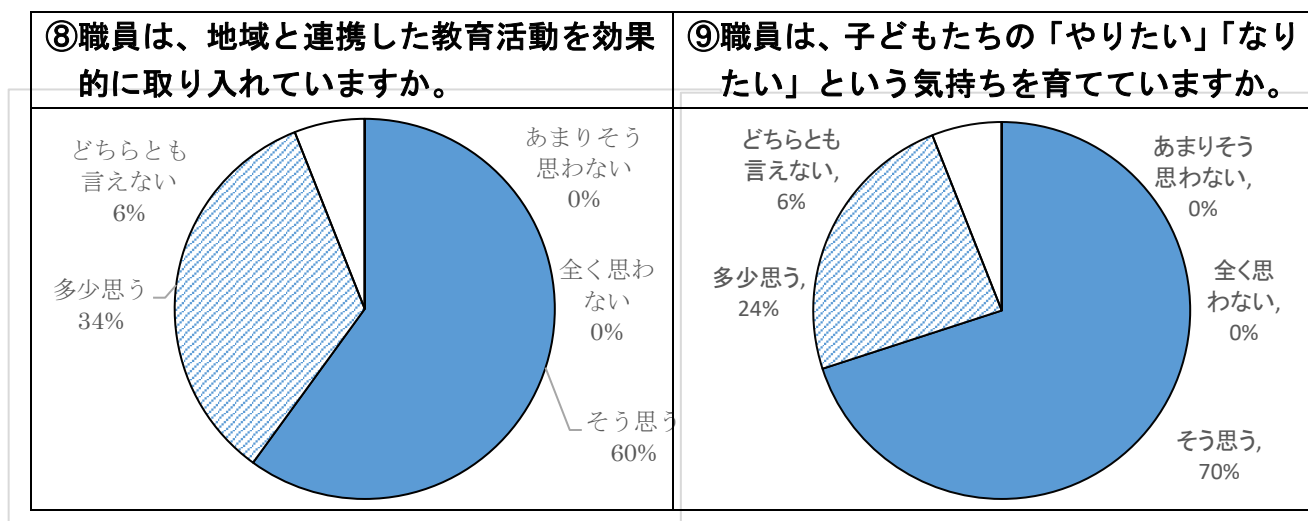
項目②「お子様は、地域と関わりをもって生活していますか。」については、肯定的評価が61%（1学期比+5%）と1学期よりも向上しています。「居住地校交流や地域の行事に参加している。」（小学部）、「見附図書館の施設を活用している。」（中学部）といったご意見があった反面、「地域と関わる機会がありません。」（小学部）、「休日は買い物以外に関わる機会がない。」（中学部）といったご意見もありました。様々な事情で、地域と関わる機会がもてないご家庭も見られます。

項目③「お子様は、物事を最後までやり遂げようとしていますか。」については、肯定的評価が66%（1学期比-3%）でした。「いろいろなことに集中している。」（中学部）、「決められたことは最後までこなす。」（高等部）といったご意見もありましたが、「集中して取り組むことはまだ難しい。」（小学部）、「難しいと最初から諦めてしまう。」（中学部）などのご意見も見られました。

項目④「お子様は、いろいろなことに挑戦しようとしていますか。」については、肯定的評価が74%（1学期比+1%）でした。「以前よりやってみるということが増えた。」（小学部）、「目標をもつようになっている。」（高等部）といったご意見をいただきました。中には「本人の特性上難しい。」（中学部）といったご意見もありました。

項目⑤「お子様の心と体は健やかに育っていますか。」については、肯定的評価が92%（1学期比+3%）と高い評価でした。「他者に対する思いやりや優しい気持ちを感じる。」（小学部）、「毎日元気で楽しそう。」（中学部）、「3年間通い、心身ともに成長した。」（高等部）など、具体的な成果についてたくさん書いていただきました。学校だけでなく、ご家庭でも子どもたちの着実な成長が認められます。





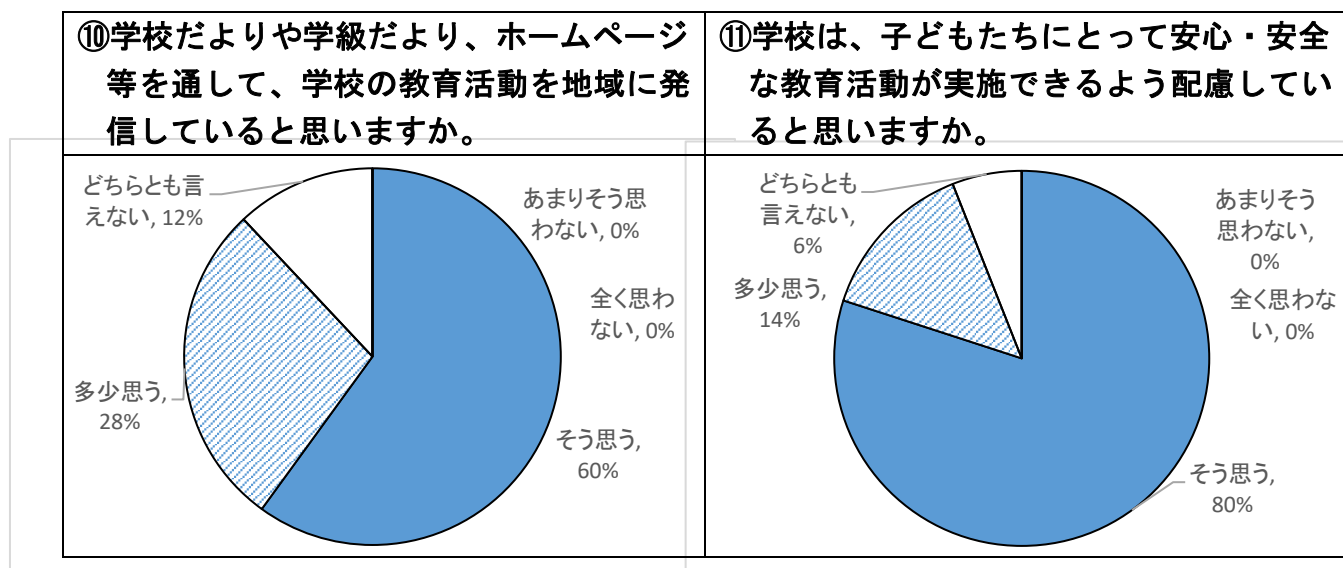
「重点項目」に関連した項目⑥～⑨では、学校職員の取り組みについてお聞きしました。

項目⑥「職員は、個々の子どもたちに応じた指導・支援をしていますか。」については、肯定的評価（「そう思う」「多少思う」）が94%（1学期比－4%）と高い評価をいただきました。「着実にできることが増えてきている。特に挨拶に関しては当たり前のこととなってきた。」（小学部）、「良くない行動が出た時に、根気よく指導いただいた。」（中学部）といったお褒めのお言葉をいただきました。反面、「最重度知的障害の子どもへの配慮が足りない。」（小学部）というご意見もいただきました。今後も個別の指導計画をもとに、個に応じた適切な学習支援を進めてまいります。

項目⑦「職員は、子どもたちの豊かな人間関係ができるよう配慮していますか。」については、肯定的評価が92%（1学期比－4%）と高い評価をいただきました。「友達とのやりとりや関わりを見守ってくれている。」（小学部）、「お互いの意見を聞いたり取り入れたりして、平等に対応している。」（高等部）などのご意見をいただきました。今後も、温かく安心して過ごせる学級づくりを進め、子どもたちの豊かな人間関係を培っていきます。

項目⑧「職員は、地域と連携した教育活動を効果的に取り入れていますか。」については、肯定的評価が94%（1学期比＋4%）と高い評価でした。「初めての校外学習や名木野小との交流など、いろいろな経験ができた。」（小学部）、「地域で作業製品販売をしている。」（中学部）、「地域の施設と連携して実習等を組んでいただいている。」（高等部）といったご意見をいただきました。2学期はどの学部も地域の施設や人材を利用した学習を積極的に進め、それが好評価につながったものと思います。今後も学校目標「地域で豊かに自分らしく生きる」の実現に向けて、努力してまいります。

項目⑨「職員は、子どもたちの『やりたい』『なりたい』という気持ちを育てていますか。」については、肯定的評価が94%（1学期比－2%）と高い評価をいただきました。「興味関心をすぐに取り入れて実行している。」「一人一人の気持ちを考えて、やりたいと思うようなことをしてもらっている。」（小学部）などのご意見をいただきました。反面、「実習の内容が、毎回あまり変化がないように感じる。」（高等部）というご意見もありました。今後は様々な活動に改善を加えながら、子どもたちが「この学習に取り組みたい」「将来こんな仕事をしてみたい」といった前向きな気持ちをもてるよう進めてまいります。



項目⑩「学校だよりや学級だより、ホームページ等を通して、学校の教育活動を地域に発信していると思いますか。」については、肯定的評価が 88%（1 学期比+1%）と高い評価をいただきました。「ホームページで学校での活動を見ることができてうれしかった。」

（小学部）、「分かりやすく、定期的に発信されている。」（高等部）といったご意見をいただきました。今後も各種たよりやホームページを通して、子どもたちの様子をわかりやすくお伝えしていきます。ホームページについては、定期的に更新するよう努めてまいります。右にホームページのQRコードを掲載しましたので、ぜひお気軽にご覧ください。



項目⑪「学校は、子どもたちにとって安心・安全な教育活動が実施できるよう配慮していると思いますか。」については、肯定的評価が 94%（1 学期比-2%）と非常に高い評価でした。「細やかに報告や相談をさせてもらっており、子どもが安心して過ごせている。」（小学部）、「子どもの不安を和らげるように声掛けや対応をいただいている。」（中学部）といったご意見をいただきました。これからも安心・安全を第一に、子どもたちをしっかりと見守り、けがや病気、災害等の事態が発生してもすぐに対応できるようにしていきます。

項目⑫「ご自分のお子様について、今学期成長した姿や頑張った姿がありましたら、具体的にお書きください。」（自由記述）には、具体的な姿をたくさん書いていただきました。

「着替えがとても上手になり、一人で着替えができるようになった。」「集中力がつき、待つこともできるようになった。」（小学部）、「人前でも積極的に発言や行動ができるようになり、驚いている。」「登校時に、やる気・元気が出ている。」（中学部）、「疲れた時に申し出るなど、実習で何とか頑張ろうと取り組む姿が見られるようになった。」（高等部）など、個々に様々な成果が上がっていることがわかりました。

項目⑬「今後、学校にどのような取り組みを期待していますか。お書きください。」（自由記述）にも、様々なご意見をいただきました。

「校外活動を増やしてほしい。」「将来の仕事に就いて、本人と一緒に考えてほしい。」（小学部）、「地域や大人と関わる機会を増やしてほしい。」「自立に向けて支援していただけるとありがたい。」（中学部）、「こんなことをしているということを地域に発信してほしい。」（高等部）などです。保護者の皆様のご要望をもとに、子どもたちの力をさらに伸ばせるよう、日々の取り組みを進

めてまいります。なお、学習面や生活面での具体的なご要望があれば、ぜひ学級担任にご相談ください。

その他、学校への様々なご意見、ご要望をいただきましたので、以下、お答えできる範囲で記載します。

- ・「P E C SやA B Aを取り入れて、教育を充実させてほしい。」「最重度知的障害＋自閉症の子への支援について、知識と理解を期待している。」(小学部)

→昨年8月26日、公開講座「強度行動障害への理解と対応」を当校で行いました。講師として児童精神科医 門眞一郎様をお迎えし、自閉スペクトラム症や強度行動障害の理解、P E C S (絵カード交換式コミュニケーションシステム)の有効性について学び、後日職員による演習も実施しました。今後も様々な障害特性とそれに応じた適切な支援方法について、職員全員で研修を重ね、子どもたちにより良い教育を提供できるよう努めてまいります。

- ・「作業販売についての案内を地域や事業所に伝え、子どもたちの作品を販売してほしい。」(中学部)

→今年度、中学部はパティオにいがたとネーブルみつけで作業製品販売を行いました。事前に各施設にポスターを掲示したり、保護者の皆様に案内を差し上げたりしました。当日は買い物等でいらっしゃった市民の方からもお買い上げいただき、その様子は「みつけ新聞」(12月19日号)にも掲載していただきました。今後も子どもたちの活躍を地域の皆様に知っていただけるよう努めてまいります。

- ・「学校にA E Dがあるので、救命救急講習があると、先生にも保護者にもよいのではないか。」(高等部)

→毎年6月上旬ごろ、職員対象の救急法講習会を行っています。見附消防署の方を講師にお招きし、緊急時の心肺蘇生、A E Dの使い方について演習形式で学んでいます。来年度は、保護者の皆様にも案内を差し上げ、希望する皆様から講習会に参加していただこうと考えています。

- ・「いろいろな実習先が増えてほしい。生徒の活動場所が増えれば、個に合った場所が見つかるのではないか。」(高等部)

→高等部現場実習の実習先については、事前に保護者アンケートをとったり、生徒の実態に合わせて企業開拓をしたりして選定しています。今年度は見附市内だけでなく長岡市の施設に実習に出掛ける生徒もあり、活動場所が徐々に充実してきています。今後も、個々の生徒の実態や要望に即して進めてまいります。

紙面の都合等で、いただいたご意見、ご要望の全てに回答することはできませんが、一つ一つ真摯に受け止め、検討し、改善できるところは可能な限り対応してまいります。

また今回のアンケートでは、要望だけではなく、温かいお言葉もたくさんいただきました。「いつも個別に配慮した指導をしていただき感謝しています。」(小学部)、「保護者の希望をくみ取って、それに沿った指導をしていただいています。」(中学部)、「本人の好きなことを活動に取り入れていただき、家庭での穏やかな生活につながりました。」(高等部)などです。いただいたお言葉を励みに、職員一同さらに努力を続けてまいります。

なお、当校では、いつでも保護者の皆様のご意見、ご要望を承っております。お気づきのことがあれば、いつでも学級担任や学校職員にお伝えください。